

平成 22 年度事業の概要

CO₂ 削減につながる活動の普及・省エネルギーの促進・温室効果ガスの排出抑制

■みどりの保全・地球温暖化防止に向けた普及・啓発の推進

- 62 市区町村に共通啓発物品としてのグリーンカーテン用のタネとパンフレットを配布し、本プロジェクトの周知を図ります。

■都内区・市・町の温室効果ガス排出量算定手法の共有化推進

- 区市共通版の標準算定手法により、都内区・市・町の温室効果ガス排出量を算定し、公表します。

■レジ袋削減キャンペーン

- レジ袋の削減に向けて、啓発用ポスターの作成や WEB ページ・メディアの活用、企業等との連携などのキャンペーンを実施し、各市区町村の取り組みの効果を高めます。

みどりの保全と地球温暖化防止対策を推進するための連携体制構築

■各団体の実施する事業との連携

- 62 市区町村の実施する環境イベント等と連携した取り組みを行います。
- 「チャレンジ 25 キャンペーン（旧チーム・マイナス 6%）」等との連携を図ります。

■「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」ホームページの充実 <http://all62.jp/>

- 62 市区町村の連携をさらに深めるため、事業や活動の紹介等、関係情報の充実を図ります。

■市区町村職員共同研修の実施

- 職員研修所等と連携し、専門的な知識を修得する「カーボン・オフセット研修」と「森林セラピー体験研修」を実施し、各市区町村のみどりの保全や自然環境保護及び地球温暖化防止施策の向上を図ります。

■カーボン・オフセットの研究

- 平成 21 年度に実施した基礎自治体におけるカーボン・オフセットの可能性についての研究結果を踏まえ、具体化を図れるよう更に研究を進めます。

人々が、環境を考え、行動できる場の設定

■みどり東京・温暖化防止プロジェクト助成金交付

- 62 市区町村がそれぞれ実施する、みどりの保全・地球温暖化防止に関する事業に対して、1 市区町村 150 万円を限度として助成します。

■みどり体験交流事業助成金

- 市区町村が実施する、都内在住の小学生を対象にした、東京の自然を体験する環境教育事業に対し、助成金を交付します。

■みんなで環境を考える共同行動の実施

- 企業や学校、地域関係団体等の環境に係る取り組みについて、それぞれの活動を魅力的に応援するため審査会（コンテスト）を実施します。発表の場等を設ける事により、「みんなで環境を考える」機運および活動の質を高めます。

■（仮称）共同行動参加システムの実施設計及び構築

- 誰もが、いつでも、環境負荷低減活動等の共同行動に参加できる場を、インターネット上につくるための詳細設計および構築を行います。